

2011 Japan National Team Report "player"



報告者	クラブ 藤沢市青少年セーリングクラブ 学年 3年 氏名 榊原 匠人		
大会名	IODA アジア選手権 2012		
開催地	シンエマー		
大会期間	6月2日 ~ 6月10日		
セールNo	3219	最終順位	10位

- 帰国後1ヶ月以内に、海外派遣担当 田中 (mamet@silverzaq.jp) までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
 1. このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい
 2. 他国のOP艇を接近して撮影することを禁止します

気温、水温、ウエアについて	気温は30°で、本日は冷たく、服は海では長そででした。
海面(湖面)の特徴や風の傾向	海面は風が出ると波が石釜くなり、大会中は基本陸風でした。
セッティングで注意したこと	セッティングは風が弱い時はゆるめで、風が強い時は強めにしました。
セーリングで注意したこと	セーリングは全体の重さきと先豆魚般の重さきを見て、タックの位置をきめました。
海上で練習したこと	海上で系練習したことは、ラビットサホロ、ガリーダーなどもかりました。

実際のスペリはどうでしたか？	スピードはあったが上位選手のヒビをたら、アビームとフリーで負けていた。
スタートは、どうでしたか？	スタートは最有利な方からでようとして無玉里をして2-3月目からでてしまったが、中ばんからルームがまいているところからでた分うまくいった。
コース戦略はどうでしたか？	コースは基本、全体の重きを見てマックセライブもしました。
自分より上位の選手との違いは？	スピードやマックもする位置の正確さが違った。
国内の練習で役立ったこと	スタート練習が、風がきつくないときに役立った。
国内の練習で足りなかったこと	アビームやフリーでのスピードを速くする練習。
印象に残った外国選手は？	SIN(シンガポール)の選手。
行く前と、行ってからで違ったことはありましたか。	チーム内の仲がよくなった。
今後の課題と目標は？	次の種目や、次の全日本でがんばりたいです。
JODAへの要望	特にありません。
その他	JODAの皆さんありがとうございました。

ご協力ありがとうございました

JODA 海外派遣委員会